

# ペアレントトレーニング による家族の子育て支援

福田 恭介

福岡県立大学 人間社会学部 人間形成学科

# 今日の流れ

家庭で子どもへの手助けをするために

1. ペアレントトレーニングとは
  - 子どもへのトレーニングからペアレントトレーニングへ
2. 発達障害の考え方
  - 自閉症スペクトラム症 (ASD: Autism Spectrum Disorder)
  - 注意欠如多動症 (ADHD: Attention Deficit Hyperactivity Disorder)
  - 学習症 (LD: Learning Disability)
3. 目標行動の決め方
  - できるようになってほしい行動5つ, やめてほしい行動5つ
  - 目標にできる行動(具体的)
4. 観察の仕方, 記録の仕方
  - 観察と記録: 子どもの行動と大人の言葉かけ
5. ペアレントトレーニングによる家族の子育て支援
6. 事例

# 子どもへのトレーニングから ペアレントトレーニングへ

## 発達障害を持つ子どもの親(ペアレント) のためのトレーニング

### 親の悩み

- わが子は、何でこんなことをするのだろうか
- 何回注意しても言うことを聞かない
- どうすれば親の気持ちに通じるのだろうか
- どのくらいたたけば言うことを聞いてくれるか

# 発達のがかりな子ども

## 発達障害

- 自閉症スペクトラム
  - ASD: Autism Spectrum Disorder<sub>u</sub>\*
- 注意欠如多動症
  - ADHD: Attention Deficit Hyperactivity Disorder<sub>u</sub>\*
- 学習症
  - LD: Learning Disorder<sub>u</sub>\*

# 自閉症スペクトラム(ASD)とはどういう状態か？

## :DSM-5

Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition, DSM-5. American Psychiatric Association, Washington, D.C., 2013

### 1. 幼少時から社会的コミュニケーションの障害

- 会話が成り立ちにくい
- 表情や目くばせから気持ちを読み取りにくい
- ジェスチャーで気持ちを伝えたり読み取ったりが苦手
- 友だちとままごとなどで気持ちを共有することが苦手(空気が読めない)

### 2. 幼少時からくり返し行動にふけったり, 興味が限定的

- 毎日同じ食べ物を食べたり, 同じ道を通ったり
- おもちゃを並べたり
- 熱や痛みに対して無関心の一方で, 特定の音や感触に対する嫌な反応
- 目の前で手をぱたぱたさせる

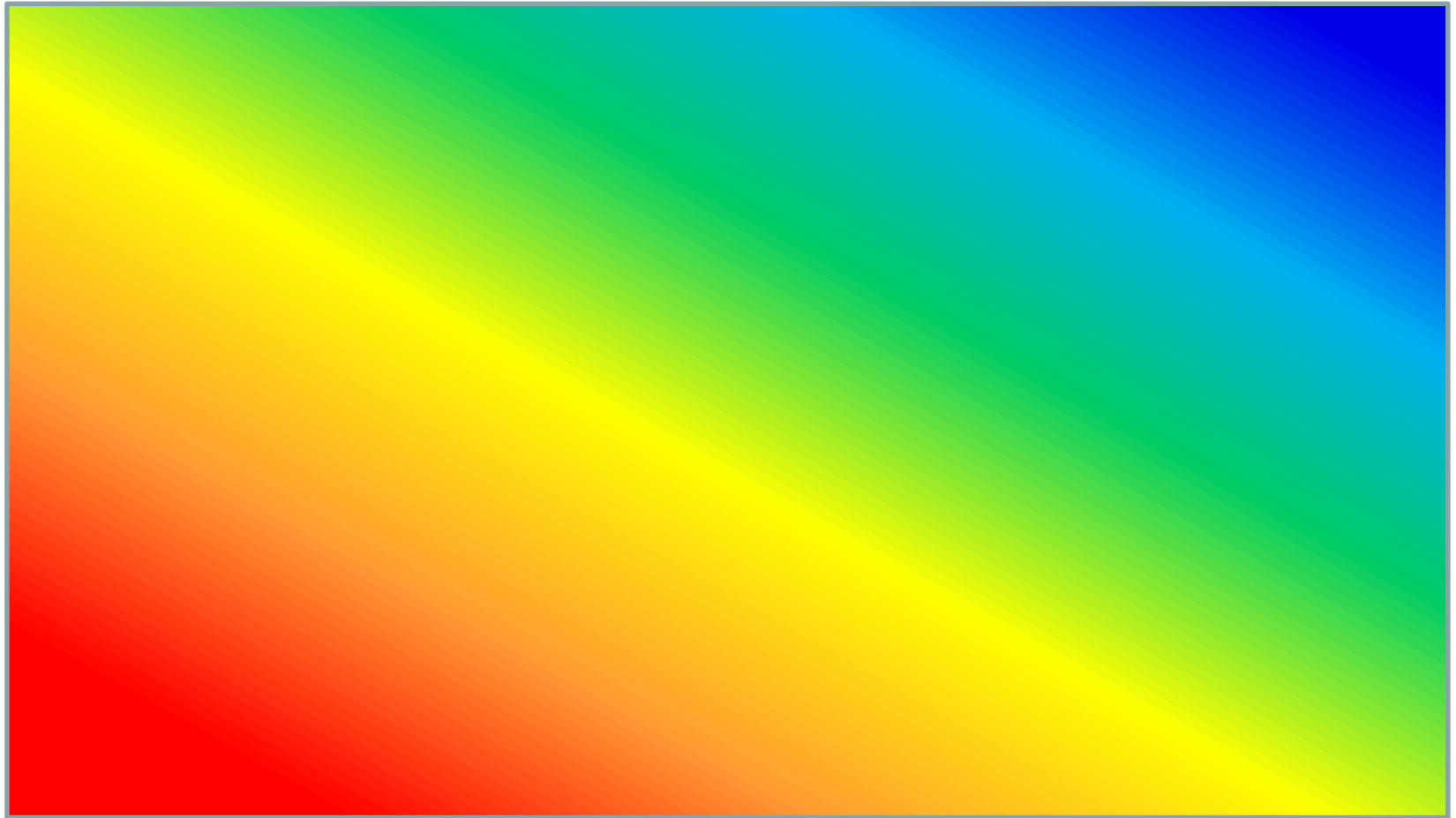
**これらの行動は, 親の育て方ではなく脳の機能障害による(Rutter, 1978)**

Rutter M. (1978) Diagnosis and definition of childhood autism. *Journal of Autism Child Schizophrenia*. 8(2), 139-61.

# 自閉症スペクトラム 概念図



高い  
↑  
知的能力  
↓  
低い



強い → 自閉的傾向 → 弱い

# 奥村隆(2012)

## 「息子と僕のアスペルガー物語」

<http://gendai.ismedia.jp/category/okumura>

### 【第10回】バレンタインデーの恥ずかしい勘違い

- 算数の授業中に、先生が黒板に式か何かを書き、それを指差して、「ここに注意しなさい」と強調したことがある。僕は、「ここ」というのを「先生の指先」だと思い込んだ。そこで、先生の指先をじっと見続けた。
- チョークを持ったり、窓を開けたり、尻を搔いたり、鼻をほじったりする先生の指から、僕はずっと視線をそらさなかった。他のクラスメートが下を向いてノートを取っている間も、先生の指を見つめるのをやめなかったので、さすがに不審に思ったらしい先生が「どうした?」と聞いてきた。僕は瞬間的に「何か勘違いをしたらしい」と気づいて、他の児童と同じように下を向いてノートに適当なことを書いた。
- しばらくして、その話を隣の席の女の子にしたところ、「奥村君、『ここ』が指なわけがないでしょ。先生は、黒板に書いた式のことを言ってたんだよ」と呆れられ、初めて自分の間違いを知った。

# 自閉症スペクトラム(ASD)についての考え方

Baron-Cohen(1985)「心の理論」欠損仮説

マインド・ブラインドネス(mind blindness)理論

－ 他者理解の障害

**サリー**が、おもちゃで遊んでいましたが、おもちゃを**かご**に入れて外に出ていきました。そこへ**アン**がやってきて、勝手におもちゃを取り出して遊んだ後、**箱**に入れて出ていきました。しばらくして、**サリー**がお部屋に戻ってきました。★

- **記憶質問**:「**サリー**は、最初おもちゃをどこにしまっていましたか？」
- **現実質問**:「おもちゃは本当はどこにありますか？」
- **信念質問**:「**サリー**は今、おもちゃがどこにあると思っていますか？」(誤った信念)



# 「心の理論」

## (Premack & Woodruff, 1978)

Premack, D. & Woodruff, G (1978) Does the chimpanzee have a theory of mind? *Behavioral and Brain Sciences*, 1 (4), 515-526.

### 1. 実験群

- 20人の自閉症児（平均11歳11ヶ月）

### 2. コントロール群1

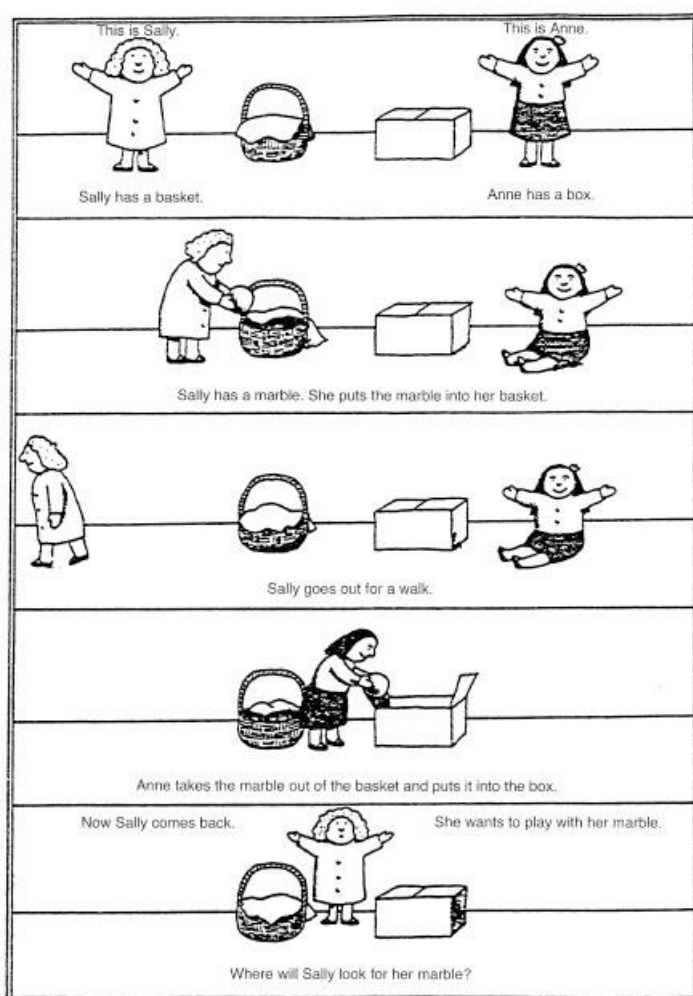
- 14人のダウン症児（平均10歳11ヶ月）

### 3. コントロール群2

- 27人の定型発達児（平均4歳5ヶ月）

1. 全群とも真実質問，記憶質問に**正解**
2. 定型発達児の**85%**，ダウン症児の**86%**が信念質問に**正解**
3. 自閉症児の**80%**が信念質問に**不正解**

Baron-Cohen, S., Lesile, A.M., & Frith, U. (1985) Does the autistic child have a “theory of mind”?\*. *Cognition*, 21, 37–46



# AD/HD

1. 準備をしたつもりだったのに、忘れてる
2. 話の途中でいろんなことを考えてる
3. 知らないうちに散らかっている

えじそんくらぶ 高山 恵子  
(著), 内山 登紀夫 (著)  
ふしぎだね!?ADHD(注意  
欠陥多動性障害)のおと  
もだち (発達と障害を考  
える本)

ミネルヴァ書房

## 1.じっとしてられない

- わかっているのに、落ち着かなくて、つい動いてしまう。

## 2.周りが気になって仕方ない

- とんりのまおちゃんの筆箱の中にある、キラキラした鉛筆や、黒板の横にあるメダカが気になって仕方がない。
- 気になるといつの間にかそばに行っている

## 3.気がついたら答えてしまっている

- 手を上げてさされてから答えるというルールもわかっているのに、気がついたらうっかり答えてしまう。

## 1.「貸して」と言えない、返すのも忘れてしまう

- 使いたいものがあると、「貸して」という前に手が出てしまう。取る気はないのに、返すのを忘れてしまう。

## 2.考える前に手が出てしまう

- 後から後悔するのだけれども、そのときはやめられない

## 3.ひどいことって言われてもわからない

- 「ひどいことばかり言う」って言うけど、どういうことがひどいことか分からない。

# AD/HD

## Attention Deficit Hyperactivity Disorder

### 注意欠如・多動症

#### 不注意

- 忘れ物が多い, 必要な物をなくす、授業中上の空で過ごしている、毎日の活動を忘れてしまう、特定のものに夢中になると制止がきかない、熱い鍋を直接持ってしまう、等

#### 多動性

- 手足をそわそわ動かす, 離席が多い, 走り回ったり高い所へ上ったりする, じっとしていない, しゃべりすぎる 等

#### 衝動性

- 教室で友だちとトラブルを起こす, 質問が終わらないうちに答えてしまう, 順番を待つことが苦手, 等

# LD

## LD

- **文字を読み分けるのが苦手**
  - 形の似ている文字の区別が苦手
  - 「ろ」と「る」
  - 「ツ」と「シ」
- **どこで区切るのかが分からない**
  - 初めて出てきた言葉や、普段使わない言葉
- **文字や行をぬかしてしまう**
  - 練習しても、気をつけてもうまくいかない

- **文字を書くときに間違える**
  - 黒板の文字はちゃんと見えているのに、書くときに左右が分からなくなる
  - 漢字のへんとつくりを逆に書いてしまう
- **小さい「っ」が苦手**
  - 「きって」と言えるのに、小さく書く「っ」を書き忘れて、「きて」と書いてしまう
- **原稿用紙のマスの中に、うまく文字をかけない**
  - マスからはみ出してしまう
  - 「。」や「、」もどこにつけていいかわからない

- **話す言葉うまくできない**
  - みんなの話はよくわかる
  - 漢字も読める
  - 話すことが嫌になる
- **言葉を思い出すのに時間がかかる**
  - 頭の中で思い浮かべたものの名前を思い出すのに、時間がかかる
- **言葉がうまくつなげられない**
  - 言葉の後につく、「～は」、「～を」やうまく使えない
  - 「でも」、「それで」をうまく使えない
  - 「今日、学校休み」のように言葉を並べるだけになってしまう

内山 登紀夫 (監修), 神奈川LD協会 (編集)

ふしぎだね!?LD(学習障害)のおともだち (発達と障害を考える本)

ミネルヴァ書房

- **Learning Disorder** (DSM-IV-TR)
  - 読字障害, 算数障害, 書字表出障害, 特定不能の学習障害
  - その人の年齢から期待されるものより明らかに低いために学校の成績も低下するだけでなく日常の活動にも差し障りがある
- **Learning Disabilities** (文部科学省, 1999)
  - 全般的な知的発達に遅れはないが、
  - 聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態
- 中枢神経系における何らかの機能障害
- 親の育て方や本人のやる気の問題ではない

# 発達障害

(Developmental Disorder)

## 自閉症スペクトラム

(ASD: Autistic Spectrum Disorder)

社会的コミュニケーション障害  
常同性

## 学習障害

(LD: Learning Disorder)

読字障害  
書字表出障害  
算数障害  
特定不能の学習障害

## 注意欠如・多動症

(AD/HD: Attention Deficit/Hyperactivity Disorder)

不注意  
多動性-衝動性

## 知的障害

(Intellectual Disability)

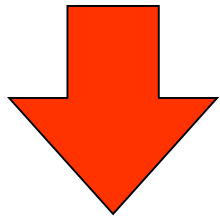
<http://www.kaien-lab.com/>

発達障害に特化した職業訓練 & 就活支援プログラム

発達障害の子どもたちは、多くの場面でまわりから誤解されやすい。周囲の大人が歩み寄っていき、支援できるような体制を作ることが必要

# それまでは 子どもへのトレーニング

- 行動療法に基づいた発達障がいの子どもへのトレーニング
- 子どもに対して、数ヶ月にわたって生活スキルを身につけさせ、問題行動を減らしていく



**親には歓迎**

**まかせておけば大丈夫**



## 生活スキル

- 洋服の着脱, 食事の自立
- トイレの自立

## 問題行動

- かんしゃく, うろうろ

# 効果は今一つ

子どもがトレーニングを受けているときは  
生活スキルは身につく、問題行動は減少

しかし

一時的な効果

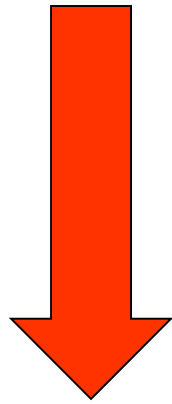
自宅に戻って、しばらくすると元の状態に  
戻ることが多い

親はどうすればよいか分からないため  
にますます混乱



# 子どもへのトレーニング

子どもがトレーニングを受ける  
親は待合室で待つ



- 親は直接トレーニングに関わっていないので、**家庭で子どもの行動の観察の仕方がわからない**
- 病院のトレーニング室ではうまくいくが、**家庭まで一般化できない**

# 新しい考え方 (ペアレントトレーニング)

- 親がトレーニングを受ける
- 子どもは待合室で待つ
  - 子どもは園や学校に行っている



# ペアレントトレーニング

- 子どもを直接治療するよりも、親が体系化された治療プログラムに参加した方が効果大きい
- 観察・記録**の仕方を教えると、親も自分の子どもには優秀な治療者になれる



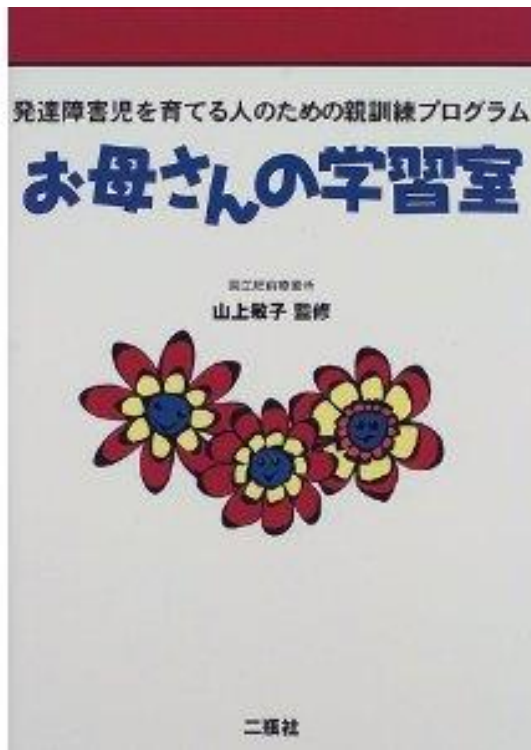
「精神遅滞児の親訓練プログラムとその効果に関する研究」

行動療法研究, 1995 (21), p.25-38

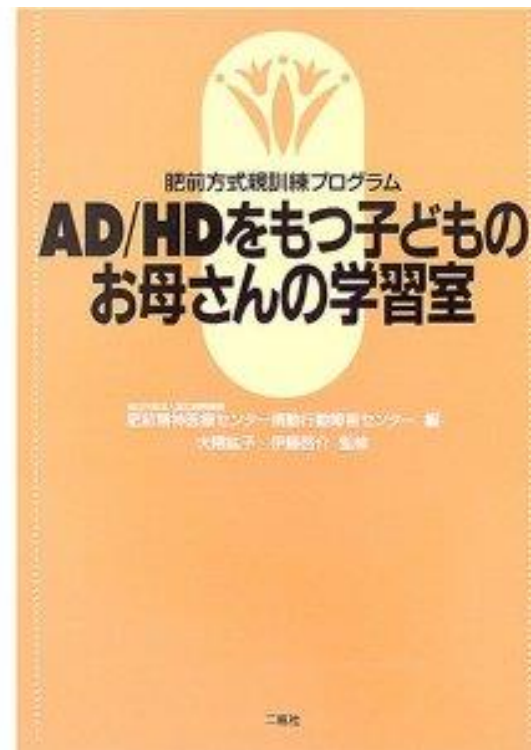
免田賢・伊藤啓介・大隈紘子・中野俊明・陣内咲子・

温泉美雪・**福田恭介**・山上敏子

記録があると、親も治療者も  
情報を共有でき、何が問題  
なのかを考えられる



「お母さんの学習室—発達障害児を育てる人のための親訓練プログラム」  
1998  
山上 敏子 (監修)



「肥前方式親訓練プログラム AD/HDをもつ子どものお母さんの学習室」2005  
大隈 紘子・伊藤 啓介 (監修), 国立病院機構  
肥前精神医療センター情動行動障害センター  
(編集),

# 「ペアレントトレーニング実践ガイドブックーきつとうまくいく。子どもの発達支援ー」

福田 恭介 編著 (2011年 10月刊)

この本は、まず何よりも実際に子育てにがんばっておられる親(保護者)に読んでいただきたいと思います。この本を読んでいただくことで日頃の子育てに関するいくつかのヒントが得られれば執筆者として望外の幸せです。

ペアレントトレーニングの考え方はいろいろな方面に応用可能だと考えています。これからペアレントトレーニングを始めてみようかと考えておられる方々、保育・学校現場でペアレントトレーニングの考えを応用してみようかと考えておられる方々にも読んでいただければと思います。

あいり出版 石黒憲一

〒600-8436 京都市下京区室町通松原下る

元両替町259番1 ベラジオ五条烏丸305

Tel.& Fax.: 075-344-4505 <http://airpub.jp/>

e-mail kishiguro@k2.dion.ne.jp

定価 2,600円+税

## 執筆者一覧

福田恭介, 吉岡和子, 中藤広美  
小嶋秀幹, 興津真理子, 本多潤子  
中山政弘, 村上ゆき, 森下万貴子  
木藤亜紀(イラスト)



# ペアレントトレーニング・スケジュール

事前 面接	4月8日	子どもに関する調査(生育歴, 診断治療歴, 家族 状況など) 行動観察	親への面接(主訴, 今後の予定) 承諾書への署名 調査用紙記入もれのチェック
----------	------	---	--

回	日程	10:00~10:45	10:45~ 11:00	11:00~12:00	12:00~12:15
1	4月15日	ペアトレの考え方(講義1) 自己紹介	コーヒー タイム	グループに分かれて話し合い 目標行動の設定(自宅でビデオ撮影依頼)	
2	4月22日	実例紹介(講義2)	コーヒー タイム	個別討議 目標行動ビデオ確認(ペアトレ前)	
3	5月13日	観察と記録の仕方(講義3)	コーヒー タイム	個別の話し合い	全体の話し合い
4	5月20日	望ましい行動を増やすには(講義4)	コーヒー タイム	個別の話し合い	全体の話し合い
5	5月27日	できないときの手助けの仕方(講義5)	コーヒー タイム	個別の話し合い	全体の話し合い
6	6月3日	環境の整え方(講義6)	コーヒー タイム	個別の話し合い	全体の話し合い
7	6月10日	困った行動を減らすには(講義7)	コーヒー タイム	個別の話し合い(ビデオ依頼)	全体の話し合い
8	6月17日	個別の話し合い(ビデオ確認ペアトレ後)	コーヒー タイム	個別の話し合い	
9	6月24日	取り組んだ点の報告会 工夫した点などの披露	コーヒー タイム	修了式 皆勤賞(努力賞)贈呈	

3ヶ月後	その後の様子について話し合い	コーヒー タイム	新たに取り組んでいる課題について話し合い 対応に困っている課題について話し合い
------	----------------	-------------	--

6ヶ月後	その後の様子について話し合い	コーヒー タイム	新たに取り組んでいる課題について話し合い 対応に困っている課題について話し合い
------	----------------	-------------	--



# 目標行動の決め方

- やめてほしい行動 5つ
- できるようになってほしい行動 5つ

## 目標にできる行動の共有

- できるようになってほしい行動や、減らしたい行動の優先順位が高い
- 具体的な実際の場면을イメージできる行動である
- 家庭で取り組める行動で、親(保護者)が観察しやすく、子どもと一緒に関わる  
ことのできる時間帯の行動である
- 子どもがすでに時々は、できている行動である
- これからの生活において、身につけておいてほしい行動である
- 他の場面にも応用できそうな基本的な行動である

# ペアレントトレーニング

## 目標行動が決まったら

### 価値観の変更:提案

- 困った行動だけど, 他の望ましい行動に変えられそうか

### 行動の意味を考える:提案

- なぜそのような行動が起きているのかを記録から探る



# 行動の記録のポイント

1. どんなとき-行動-周囲の言葉かけ
2. いくつかの段階に分けて記録
3. 回数のあるときの状況を記録

# 1. どんなとき-行動-周囲の言葉かけ

目標行動： 大声をあげたり，人をたたいたりしない

月日	時刻	きっかけ	行動	大人の対応	直後の様子
5月26日	15:30	アイスを食べたいらしく，冷蔵庫を開けたら，父親に「ダメ！」と言われた	声を出し，父親をたたいた	アイスを食べさせた	しばらくの間，落ち着いた
5月31日	16:40	祖母が焼きそばを冷蔵庫に入れていた。それに気づいた。	焼きそばを欲しかった。 声を出してかんしゃくを起こしそうになるが，自分で抑えている様子	祖母が「これは，じいちゃんのためだからダメ！」	「アーアー」と大声を上げた。 15分ほどやりとりをして，焼きそばを食べさせた。 落ち着いた

- ① 学校から帰ってお腹がすいているときにおきやすい。
- ② おやつを食べさせるとさらに食欲が増し，行動がエスカレートする
- ③ 夕食は5時から
- ④ 学校から帰って手持ちぶさたなときにおきやすい

学校から帰って，  
手持無沙汰にさせない

# 1. どんなとき-行動-周囲の言葉かけ

目標行動： 順番を守る

Aくんは、順番を守ることができない。友だちが並んでいると、すぐに横から割り込み、友だちとトラブルになる。遊戯室に入っても、走り回ってばかりで、じっとしておくことができない。Aくんの行動が周りに伝染して、全体がますます混乱してしまう

きっかけ	行動	保育士の対応
遊戯室の入り口でみんなが並んでいる ワイワイガヤガヤうるさい	Aくんが割り込む。 騒ぎはますます大きくなる Aくんは、ますます騒ぎ出す	Aくんに静かにするように 大声で注意

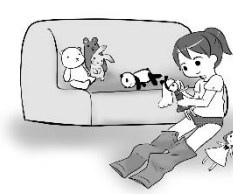
## 気づいたこと

- ザワザワした中では、Aくんは**混乱して、何をすればよいか分からない**のでは
- 注意されたことで**混乱はますます大きくなり**、走り出してしまうのでは

## 対処したこと★

- どこに並べばいいか、**線を引いた**
  - 静かに並んでいる様子を**写真で見せた**
  - 遊戯室の中でAくんが座る位置に**マークをつけた**
  - 落ち着いたことを**ほめた**
- 記録するときは、一人の子どもの  
気になる行動を一点にしぼる

# 2. いくつかの段階に分けて記録



目標行動：ズボンを一人ではけるようになる

	16日		17日		18日		19日		20日		21日		22日	
置いてあるズボンを持つ	◎	○	◎	○	◎		◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎
片足を入れる	○	×	×	○	◎		◎	◎	○	○	×	○	○	◎
もう片足を入れる	○	×	×	○	◎		◎	◎	○	○	×	◎	○	○
立ち上がる	◎	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	○	◎	×	◎
ズボンをひざまで上げる	◎	○	◎	○	◎		◎	◎	◎	◎	×	◎	○	◎
お尻まで上げる	◎	◎	◎	○	◎		◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
お尻から上に上げる	○	○	○	×	◎		○	◎	◎	◎	×	○	×	○

気づいたこと

細めのズボンだったので、足を入れにくい。あきらめた。早く遊びたいのでやる気なし

病院行で、お風呂上がり。の。パジャマだと自分でできた

パジャマをはくのは完璧

運動会の疲れが残っていて、機嫌が悪い

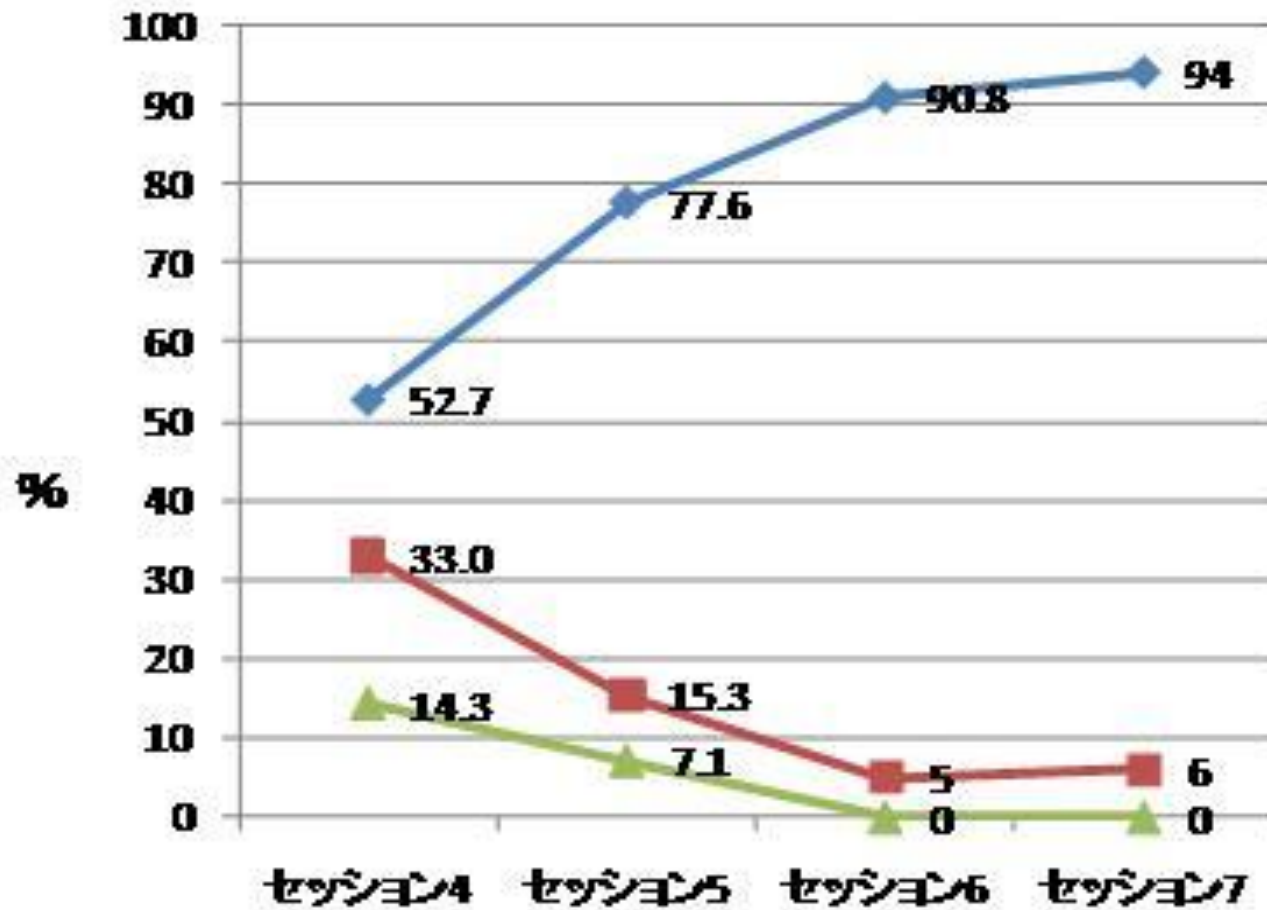
いふぞけて、は「う」としな

# 2. いくつかの段階に分けて記録



目標行動：ズボンを一人ではけるようになる

	30日		31日		1日		2日		3日		4日		5日	
置いてあるズボンを持つ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
片足を入れる	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
もう片足を入れる	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
立ち上がる	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ズボンをひざまで上げる	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
お尻まで上げる	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
お尻から上に上げる	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	◎	○	○
気づいたこと	はきやすいズボンは簡単にはける		遊びを中断しても、掃き始めた						すそ幅が狭くても大丈夫	つまずいてもあきらめない。やり直させても怒らない	少しの援助で大丈夫			仕上げは、裾の後ろを持たせれば大丈夫。子どもの取り組みを親が待てるようになった。



- ◆ 一人でできた◎
- 介助でできた○
- ▲ 全て母親がした×

Cちゃんが、一人でズボンをはけた◎○×の占める割合の推移

(各記号ごと) 1週間の合計回数 ÷ 1週間の全取り組みステップ合計回数 × 100)

# 3 回数とそのときの状況を記録

曜日	回	席を離れて行ったところ	メニュー	母のつぶやき
月	1	麦茶を取りに	ちゃんぽん	「ごちそうさまを言おう」と言うと席に戻った
	2	隣の部屋に		
	3	カウンターの横に		
	4	麦茶を取りに		
	5	隣の部屋に		
	6	父親の膝の上に		
	7	冷蔵庫を開けに		
火	1	カウンターの横に	手羽肉	肉をかみ終わると席に戻るようだ。麦茶は最初一杯ついでやると、その後欲しがらなかった
	2	隣の部屋に		
	3	床に寝そべる		
	4	床に寝そべる		
水	1	隣の部屋に	カレーライス	離席の数は多いものの、一度も呼ばれなくても自分で戻ってきた
	2	麦茶を取りに		
	3	カウンターの横に		
	4	隣の部屋に		
	5	麦茶を取りに		
	6	カウンターの横に		
	7	隣の部屋に		
	8	窓のそばに		
	9	窓のそばに		

目標行動： 食事中に席を離れない

木	1	床に寝そべる	カレーライス	麦茶, 最初に入れてやる
	2	隣の部屋に		
	3	隣の部屋に		
	4	冷蔵庫を開けに		
金	1	隣の部屋に	あじのフライ, ごはん, 味噌汁	
	2	麦茶を取りに		
	3	カウンターの横に		
土	1	隣の部屋に	スパゲッティ	麦茶は, 最初に自分でついでから席に戻った
	2	隣の部屋に		
	3	少しだけ席を立つ		
	4	隣の部屋に		
	5	テーブルを一周		
日	1	麦茶を取りに	ごはん, 味噌汁, てんぷら	
	2	トイレに行く		
	3	隣の部屋に		
	4	麦茶を取りに		
	5	窓のそばに		
	6	カウンターの横に		
	7	隣の部屋に		
	8	隣の部屋に		

# 3. 回数とそのときの状況を記録

目標行動： 食事中に席を離れない

隣の部屋に	15回
麦茶を取りに	7回
カウンターの横に	6回

## 隣の部屋に

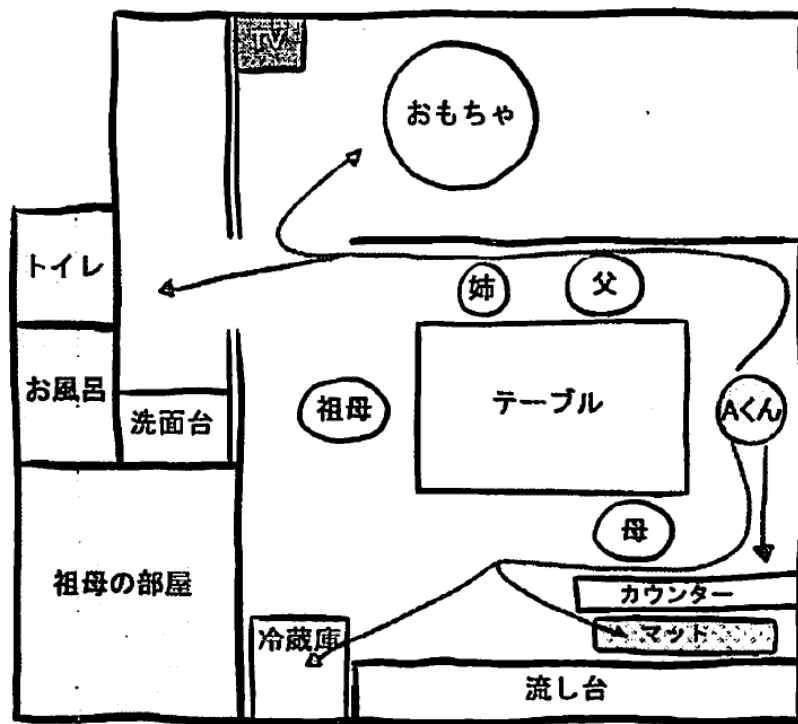
- 遊び終わった後、おもちゃを隅に寄せて、電気を消す
- ドアを閉める

## 麦茶を取りに

- 麦茶を小さなペットボトルに入れて、テーブルに置く

## カウンターの横に

- 気分を落ち着かせに行っているようだ
- 落ち着くと着席するので、容認する



1回の食事あたりの席を離れた回数

2週目	3週目	4週目	5週目	6週目
8.0回	4.6回	2.0回	2.6回	1.0回



# アセスメント（観察・記録）の効果


○月○日	きっかけ どんなとき	子どもの行動	親の行動 言葉かけ
------	---------------	--------	--------------

A: Antecedent

B: Behavior

C: Consequence

- 子どもの行動を観察・記録してきた何日間分のノート（データ）が手元にある
- 記録があれば
  - データを元に子どもの行動や親の行動について話し合うことができる
  - 印象や感情に左右されにくい
- 記録がなければ
  - この1週間、どうでした？
  - まあまあでした……。
  - だめでした……。



注意を向けていない  
行動は記憶されない

# ペアレントトレーニング で行うこと

1. 子どもの行動と親の言葉かけの**観察と記録**
2. 声かけの工夫
  - 声かけは、「**ゆっくり, はっきり, 単純に**」
  - 声かけは, 叱りつけ型から**ほめ型**に
3. 気になる行動は, あえて一時的に**知らないふり**を
4. できたことに**注目してほめ**, できないときは**手がかり**を
5. 子どもの周りの環境を**わかりやすく**

# 声かけの工夫

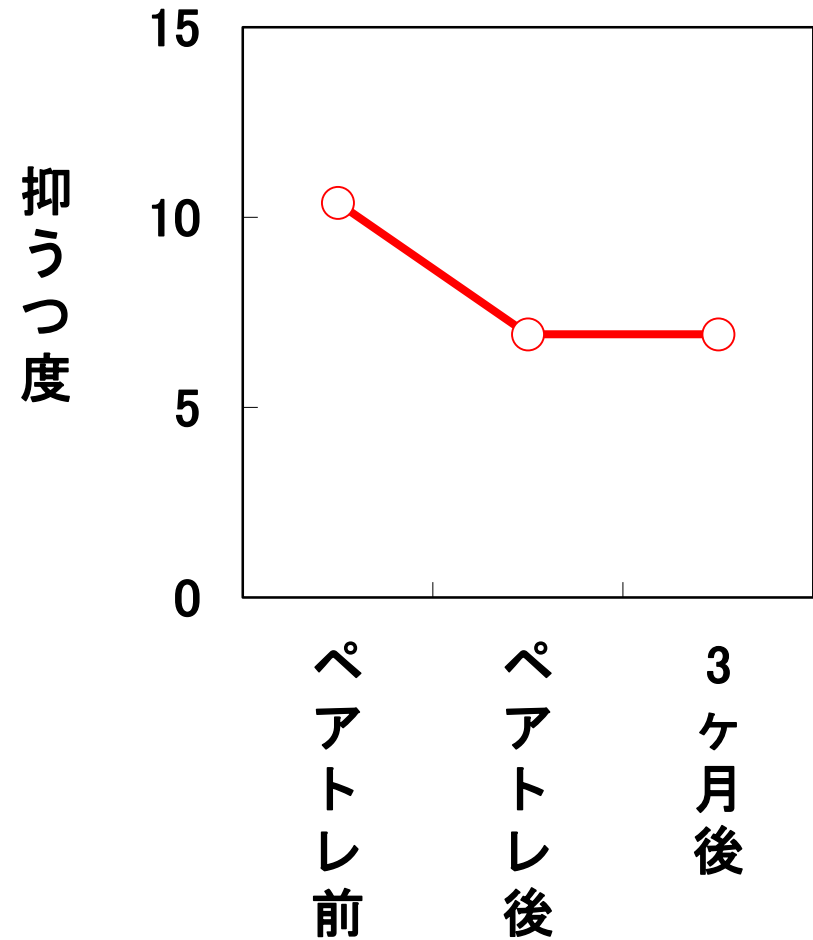
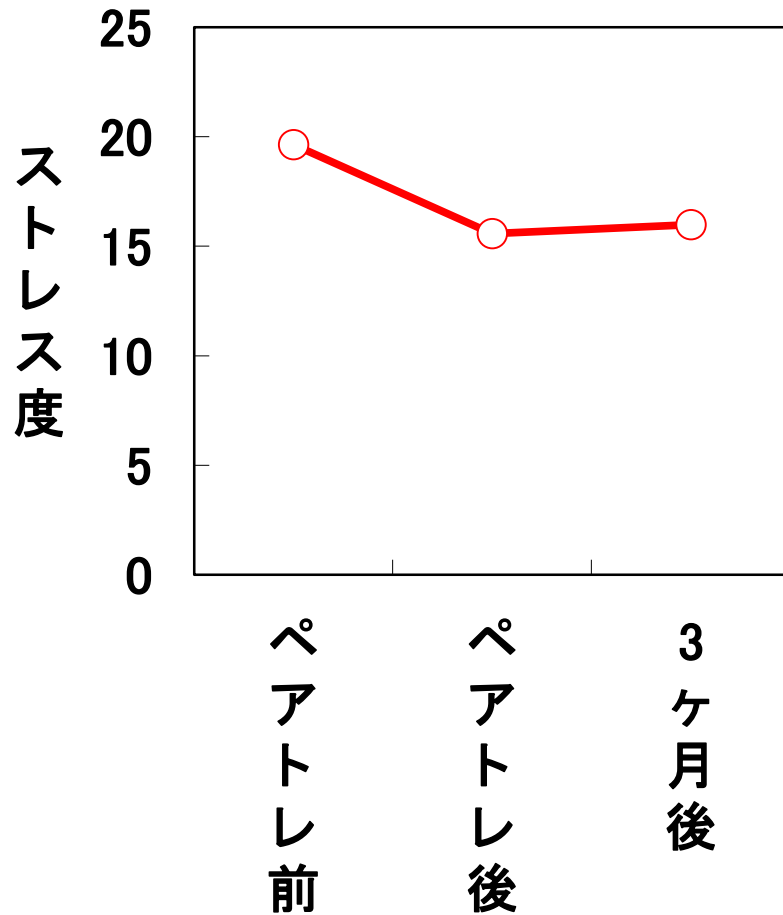
<http://buzznews.asia/?p=58648>

ネガティブな声かけ	ポジティブな声かけ	メモ
いい加減にしなさいッ！	あと何分で終われそう？	タイマー併用
何度言ったらわかるの！？	どうしたらいいと思う？	問いかけ
(兄弟をたたくなど)やめなさい！！！！	(おわったら)やめれたね。ありがとう。	兄弟は別にケア
(転んで)痛くない、痛くない、痛くなーいッ！！	痛かったね～	共感すれば早く治まる
(ブランコで)ほらあ！お友だち待っているでしょ！？	あと何回数えたら終われそう！	
人の迷惑になるからやめなさいッ！！	音が大きいと、頭痛くなる人もいるから、病院ではゲームの音OFFにしてね	迷惑の具体的な理由とやるべきことの指示
もう！いつになったら宿題やるのッ！！	宿題、何時からやる予定	
	○時までなら、手伝えるよ	ソン・トク
	○時まで終わったら1ポイントおまけ	

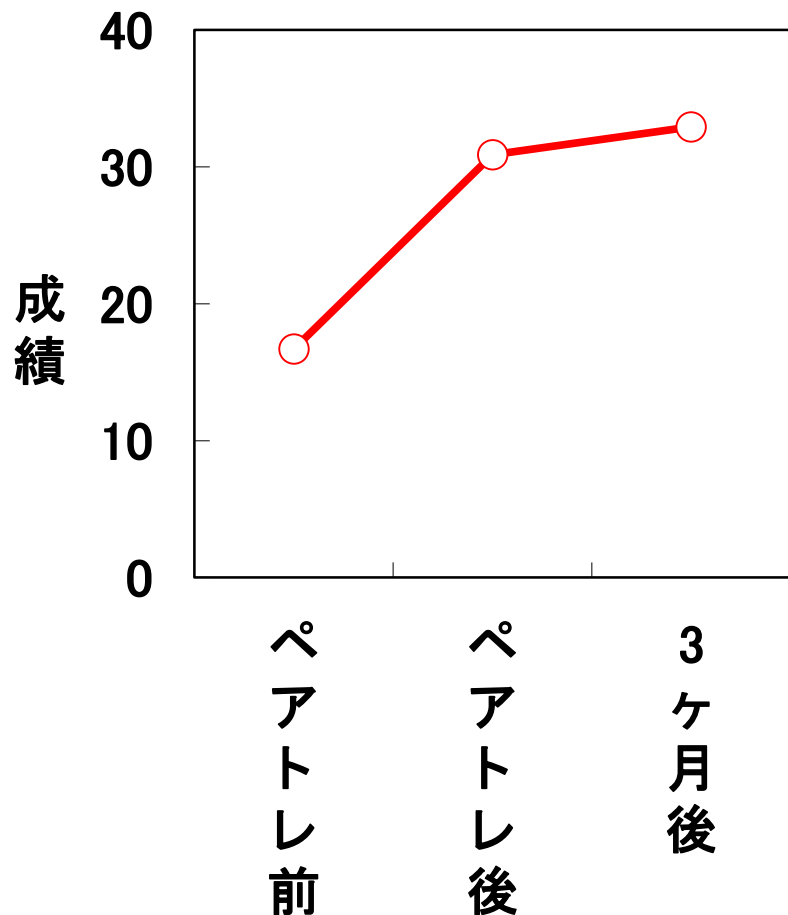
# ペアレントトレーニングによる変化

- 親の子どもの行動のとらえ方と子育ての考え方（**認知**）を変え、子育て**行動**を変えていく
  - 子どもの行動のきっかけと親の声かけを記録する
  - 日頃のちょっとした子どもの適応的行動をほめる
  - ほめる機会を増やす
  - できないときは手がかりを示す
- その結果、子どもの**行動**が変わっていく
- 親は、子育てに**自信**を深める

# 親のストレスや抑うつの変化



# ペアレントトレーニングに関する 知識の変化



3. 幼児の問題行動の大半は...
- ① 背後にある情緒的な問題への反応であろう
  - ② 家庭での交流の欠如からくるのでであろう
  - ③ 偶然、身についたものであろう
  - ④ 成長の一段階によるものだからやがて消え去るであろう

# 事例

保育士や教師に対しても、観察や記録を求めると、子どもたちが落ち着くことが示されている  
(吉岡・福田・中藤, 2010; 中村・福田, 2013)

1. 保育園での取り組み
2. 小学校での取り組み\*
3. 家庭での取り組み(子どものことを上手にほめる)\*
4. 家庭での取り組み(帰宅後, 手洗いうがいをし, 連絡帳を出し, 宿題をする)\*

吉岡和子・福田恭介・中藤広美 (2010) 「保育・教育現場における特別支援へのペアレントトレーニングの応用」福岡県立大学心理臨床研究2号 57-69.

中村恵美子・福田恭介 (2013) 「ペアレントトレーニングを保育・教育現場へ応用するためのボトムアップによる個別型・チーム型支援プログラム」福岡県立大学人間社会学部紀要22(1), 41-53.

# ペアレントトレーニング受講者の感想

- 口で言うより、目から入るとすぐに行動できることがわかった
- 子どものほめどころを探すようになり、ほめる回数が増えた
- いっしょにパニックにならなくなった
- 記録をつけると、自分の子どもが話をしっかり聞き、行動に結び付けようとしているのがわかった
- 子どもの困った行動も、一回受け止めて、その気持ちを共有すれば、子どもが落ち着くことが分かった
- 自分を嫌がらせていると思っていたが、実は親の自分の気を引くためにやっていることが分かった。